

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	イ. 活力創出基盤整備
	計画の名称	魚津駅・新魚津駅周辺における安心・安全かつ快適な都市基盤整備
	交付対象	魚津市
	計画期間	平成27～31年度(5年間)
	計画の目標	北陸新幹線の平成27年3月の金沢までの開業により、人々の移動手段、流動の劇的な変化が予想される。最寄りの新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅に接続する富山地方鉄道線と第三セクター「あいの風とやま鉄道線」との交通結節点である新魚津駅・魚津駅と、その周辺施設及び関連施設の整備により、地域住民及び来訪者の利便性の向上を図る。
	定量的指標 (目標値)	①鉄道利用者の利便性が向上し、駅利用者数が増加する。 2,400,000人/年(H27)→2,424,000人/年(H31) ②二次交通である市民バスの利用者数が増加する。 170,000人/年(H27)→171,700人/年(H31) ③市民意識調査における道路交通環境の満足度の向上を図る。 48.10%(H27)→52.00%(H31)
	対象事業	道路事業
全体事業費	5,158 百万円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	魚津市総合計画との整合性が図られている
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	駅西広場や周辺道路の利便性の向上という課題に対応する目標となっている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合わせた定量的指標となっている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	実績を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	実績を基にした指標であり、中間・事後評価を実施できる。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	JR魚津駅・新魚津駅周辺整備基本構想に即した計画であり、円滑に事業執行の環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からも要望があり、地元との理解を得られている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し	【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの	